

2024年度愛媛大学共通教育

初修外国語・履修案内



ドイツ語

フランス語

中国語

朝鮮語



新しい外国語を学ぼう！

★進行する「国際化」

- ・愛媛大学では、世界各地の143の大学機関と交流協定を結んでおり、キャンパスでは200名を超える留学生が学んでいます(2020年5月1日時点データ)。
- ・また、インターネットは、いながらにして世界各地の言語と直結した世界をモニター上に映し出してくれます。

★「世界人としての異文化理解」のための外国語

- ・外国人とのコミュニケーションの際にまず必要性が高いのは英語ですが、世界中には数多くの言語があり、その言語に基づく個別の文化、思想や社会があることを忘れてはいけません。
- ・言語と文化のこの不可分の関係は、日本語、英語に次ぐ第3の言語を学ぶことによってより具体的に体感できます。

★専門領域における外国語

- ・民族紛争、宗教対立、経済格差、地球温暖化、環境問題など世界には人類にとって解決すべき重要課題があります。
- ・こうした課題の解決、問題克服のためには、それぞれの専門領域において、多言語・多文化への鋭敏な意識をもって対処しなければなりません。

★生活言語としての外国語

- ・長期留学、短期研修、海外旅行などで異文化体験を在学中にもつ学生は多数にのびります。
- ・在学中にその機会はなくとも、卒業後に職業の関係や、個人的な関心で、外国人と交流・交渉したり、外国に滞在・旅行したりする可能性はかなり高いと言えます。

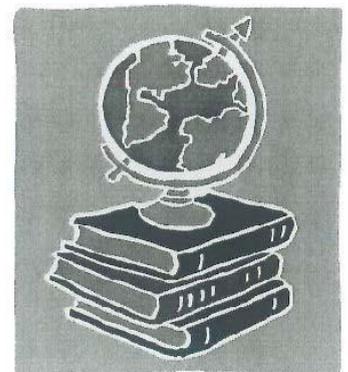
★「融合する文化」の母体としての外国語

- ・言語を母体とする文化は、音楽、映画、演劇、文学、美術、スポーツ、料理などの形で国境を越えて影響を及ぼし、互いの文化や社会に刺激を与えあい、新しい文化を生み出します。
- ・皆さんも様々な言語と文化を学ぶことによって、より豊かな生き方の可能性を開拓し、日本文化の意味をより明確に自覚することができるでしょう。

★開講される外国語

- ・愛媛大学では、「初修外国語」として、近現代日本と密接に関わり続けているヨーロッパの2言語(ドイツ語、フランス語)と、ますます関係の深まりつつあるアジアの2言語(中国語、朝鮮語)が開講されています。
- ・こうした言語の中から、皆さんの関心に応じて学習し、国際人としての基礎を身に付けることを大いに期待します。

※以下、各外国語の説明における留学や海外研修は、コロナ感染状況によって、実施できない場合があります。



ドイツ語

● ドイツ語はどこ言葉？話者人口はどれくらい？

ドイツ語はドイツ、オーストリア、スイスなど中央ヨーロッパ諸国の公用語で、ドイツ語を母語とする人の数は約1億3千万人です。ヨーロッパでは英語をしのご規模の言語集団であり、世界でも10位前後の話者数となります。

● ドイツ語を話す国々

ドイツ、オーストリア、スイスは、様々な分野で人材を輩出し、近代以降の日本にも大きな影響を与えてきました。宗教改革で有名なルター、哲学者のカント、文豪ゲーテ、作曲家のモーツァルトやベートーヴェン、世紀末芸術のクリムト、結核菌を発見したコッホ、相対性理論で有名な物理学者のアインシュタイン…最近ではテニスのフェデラー選手も活躍中です。また、先進的な環境政策・技術、

整備された地方分権制などの点で注目されることも多く、特にドイツはフランスと並んでヨーロッパ連合（EU）の中心的な役割を果たしています。音楽の都ウィーンをはじめ、有名な観光地や世界遺産など、見どころもたくさんあります。



● ドイツ語って難しい？

表記にはアルファベットを使いますが、英語にはない4つの母音 ä、ö、ü と子音ß があります。綴りと発音の関係は英語に比べてずっと規則的です。例えば…

マイン ナーメ イスト ヴォルフガング アマデウス モーツァルト イッヒ ビン コンポニスト

Mein Name ist Wolfgang Amadeus Mozart.

Ich bin Komponist.

私の 名前は ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト です。 私は 作曲家 です。

見覚えのあるような単語もたくさんありますね。このようにドイツ語と英語は特に基本的な単語がよく似ています。これは、両言語が起源的に親戚関係にあるからです。文法面での特徴としては、「語形変化が豊かであること」と、固有名詞以外でも、文頭以外でも、

「名詞は必ず大文字で書き始めること」が挙げられます。

● 授業のご案内

初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱ(第1・2クォーター)と初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳ(第3・4クォーター)は、ドイツ語とドイツ語圏事情に関する入門的な授業です。「聴く・読む・話す・書く」のバランスのとれた技能の習得を目標としています。



バーゼル（スイス政府観光局HPより）

初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱでは、文字と発音、あいさつ、自己紹介などの基本的コミュニケーション、日常的な状況における表現力の基礎を養います。初級ドイツ語Ⅲ・Ⅳは、初級ドイツ語Ⅰ・Ⅱの基礎の上に、ドイツ語全般の理解に必要なと思われる知識・技能を習得する授業です。文法事項もやや高度になり、必要な語彙も増加します。初級ドイツ語Ⅰ～Ⅳを通して受講することで、ドイツ語技能検定試験（独検）4級のレベルに到達することが可能です。独検は毎年6月と12月に松山でも受験することができます。■ <http://www.dokken.or.jp/>

● ドイツ語で人生を豊かに

松山市は30年以上、ドイツのフライブルク市と姉妹都市交流を続けており、多方面にわたる活発な交流が行われています。また、フライブルク大学と愛媛大学は、2005年から学術交流協定を結んでいますので、1年間の交換留学も可能です。よりコンパクトな留学としては、ドイツの大学が夏休みや春休みに外国人向けに開催しているドイツ語講習がお勧めです。特にフライブルク大学の講習には、愛媛大学からも毎年、皆さんの先輩が参加しています。さらに、ドイツ語圏は数多くのクラシックの作曲家も輩出してきましたので、ドイツ語を学ぶことで、オペラや歌曲などの歌詞をオリジナルで楽しむこともできるようになりますよ。



ニュルンベルクの旧市街地（ドイツ観光局HPより）

フランス語

●フランス語ってどんな言語？

フランス語はフランス本国はもとより、ギアナやニューカレドニアなどフランスの海外県・海外自治体で用いられているほか、スイス、ベルギー、カナダなどの国語・公用語のひとつでもあり、世界の5大陸すべてで実際に話されています。また、マダガスカル、モロッコ、コンゴなど多くのアフリカ諸国でも、公用語や教育語となっています。世界で英語に次いで2番目に多くの国々で、また国連をはじめとする諸機関で用いられている「国際語」でもあるのです。



●フランス語圏・フランス文化について

フランス語は、文学、芸術、思想、科学・技術、デザイン、モード、料理、スポーツなど多くの分野で注目を集める「フランス語文化圏」を形成しており、日本の文化にも少なからず影響を与えてきました。ミュージカルにもなった『レ・ミゼラブル』や、印象派の絵画などは皆さんにもおなじみでしょう。

パリや地方の美しい景観は、環境保護政策の賜物であり、フランスは世界一の観光大国でもあります。また政治の領域では、ヨーロッパ連合で中核的な役割を果たしているほか、独特な労働・家族政策でも知られ、少子化対策や食糧自給率の高さは先進各国のお手本と目されています。

フランス語の基礎知識は、さまざまな分野で皆さんが学習するための強力なツールになるかもしれません。外国語の学習は、語学力のみならず、ものの見かた、考えかたを拓げることにも繋がります。日本の言語や文化に対する認識もきっと変わると思いますよ！

●愛媛大学の授業ご案内

第1クォーターから第4クォーターまで（夜間主コースにおいては前学期と後学期）通年でおこなわれる「初修フランス語」は、フランス語とフランス語圏事情に関する入門的な授業です。どのクラスも目標は同じですが、授業の進めかたや教材には多少の違いがありますので、詳しくはシラバスを参照してください。1年間で仏検4級（松山でも春と秋に受験できます）のレベルに到達することが可能です。

●フランス語は難しい？

フランス語は英語と同じ系統の言葉で、歴史上、英語の形成にも影響を与えてきました。このため単語も文法も英語によく似ています。また、ラテン語（古代ローマ帝国の言語）に由来するため互いに似ている、スペイン語やイタリア語とも親戚関係にあります。文法には例外がきわめて少なく、発音するとき日本語にない音もありますが、綴り字の読みかたなどの規則性が高く、実は「外国人にとって学びやすい言語」といえます。フランス語の学習により、英語への理解も深まることでしょう。

●留学・語学研修のチャンスは？

愛媛大学はフランスのブルゴーニュ大学と学術交流協定を結んでおり、交換留学が行われています（他大学でも通年や夏期の語学・文化講座が開かれています）。また2年に1度、教員が引率する約3週間の《フランス語研修》がブルゴーニュ大学附属語学学校での学習を中心に実施されます。



多くの先輩たちが実地で学ぶ体験を通して語学力を磨き、その後の学習に活かしています。今後も、日本から現地と繋がることも含め（2021年度にはオンライン研修＋個人レッスンを実施）、さらなる交流の継続・強化が期待されます。

●学習支援 Web サイトを設けています

もっと詳しい情報についてはぜひ「愛媛大学フランス語学習支援サイト」をご覧ください。

- ◆フランス語ってどんな言語？（勉強すると役にたつの？）
- ◆教員紹介
- ◆初年度の授業
- ◆留学・研修
- ◆「仏検」案内



などの記事が掲載されています。まずは「フランス語ってどんな言語？」のページからどうぞ！ 下記URL や 上の QRコードから閲覧できます。

URL : <https://afa.ll.ehime-u.ac.jp/intro/>

「愛大」「AFA」で検索することにより、トップページを表示させることも可能です。※4月以降、URLが変わる可能性があります。表示されない場合はお手数ですが管理者（法文学部・柳）までお問い合わせください。

● 中国語

◎ 中国語とは？

みなさんが愛媛大学で学ぶ「中国語」とは、簡単に言うと中国の標準語であり、中国では「普通話」（あまねく通用することば）と呼ばれています。首都北京のことばを基礎としています。

シンガポールなど中国以外でも用いられているため、中国語の使用人口は 14億人近くといわれています。世界総人口の 20パーセント弱が用いている大言語です。中国は広いため多くの方言が存在します。例えば北京の人と上海の人がお互いの方言でコミュニケーションすることはまったくできません。とは言え、現在では「普通話」が普及しており、このことばさえマスターしておけば中国のどこに行っても困ることはありません。

ヨーロッパのことばとは違い、動詞、名詞、形容詞等の活用がまったくないため、入門期における中国語の学習は非常に簡単です。「我（わたし）」、「你（あなた）」、「不（～でない）」、「愛（愛する）」という4個の単語を覚えれば、「我爱你（私はあなたを愛しています）」、「你爱我（あなたは私を愛しています）」、「我不爱你（私はあなたを愛していません）」、「你不爱我（あなたは私を愛していません）」がすぐに言えるといった具合です。一年間の学習でも、まじめに取り組みさえすれば、片言くらいはできるようになります。ちょっと英語以外の外国語でも勉強してみようか、という人にこれ以上都合のいい外国語はあまりないでしょう。

中華人民共和国では、日本の漢字をより若干簡略化された「簡体字」が用いられています。「車」が「车」になるなど最初はとまどいますが、すぐに慣れます。

また、日本が中国文化を受容してきた関係で日中間には大量の共通する単語が存在します。例えば「科学」「学校」「建築」は中国語でも発音こそまったく違いますが、少なくとも字面は同じ「科学（クァーシエ）」「学校（シュエシアオ）」「建筑（チエンチュウ）」です。この種の単語は学習開始から頻繁にでてきます。数字にしても字面はまったく同じですから、「一」から「十」まで10個の発音を覚えるだけで1から99まであつという間に数えられるようになります。

以上、中国語学習のいいところばかりを書いてきました。最後によくないところも書きましょう。それは発音です。率直に言って、日本人にとって中国語の発音は、かなりマスターしにくい部類にはいります。克服するためにはひたすら地道な反復練習あるのみです。

◎ 中国語を学ぶ意義

中国という巨大な国（日本の26倍の面積）は、いうまでもなく日本のすぐ西に位置し

ています。直行便(現在は運休中)でしたら松山から上海まで2時間ちょっとです。この位置関係を動かすことはできません。そして、そこには14億を超える人々が暮らしているわけです。愛媛大学に学ぶ留学生の3割以上も中国からの学生です。ここ松山においても中国・中国人と接する機会がさまざまな局面でふえていくことでしょう。現在かなりむずかしい時期にある日中関係ですが、日本が今度も中国に対する関心を持ち続けて行かざるを得ないことは明白です。半年、一年でも中国語を学ぶとともに中国に対する興味を養う。このことは皆さんの今後の人生にとって有意義なことだと思います。

◎短期留学に参加しよう

授業以外に様々な短期留学コースやオンライン中国語講座が用意されていますので、積極的に利用するとよいでしょう。

英語圏とはまたちがったカルチャーショックが中国では体験できますし、「生きる力」もいやおうなく身につきます。

◎授業の目標

<初級中国語Ⅰ・Ⅱ>

中国語の発音とピンイン(中国語のローマ字表記)を中心とした、中国語検定試験準4級レベルを到達目標とした中国語入門。また、中国語学習を通して現代中国の社会、文化に対する理解を深める。

なお、日本中国語検定協会準4級の認定基準は「学習を進めていく上での基礎的知識を身につけていること。(学習時間60～120時間。一般大学の第二外国語における第一年度前期修了, 高等学校における第一年度通年履修, 専門学校・講習会等において半年以上の学習程度。)」とされている。<http://www.chuken.gr.jp> より。

<初級中国語Ⅲ・Ⅳ>

「初級中国語Ⅰ・Ⅱ」の基礎の上に、中国語の発音とピンインの完全な定着を目指し、同時に基礎的文法も学習する中国語検定試験4級レベルの中国語初級。また、中国語学習を通して現代中国の社会、文化に対する理解を深める。

なお、日本中国語検定協会4級の認定基準は「平易な中国語を聞き、話すことができること(学習時間120～200時間。一般大学の第二外国語における第一年度履修程度。)」とされている。<http://www.chuken.gr.jp> より。

朝鮮語

朝鮮語とその文化について

朝鮮語は朝鮮半島(大韓民国・朝鮮民主主義人民共和国)で主に話されていることばであり、約 6 千万の言語人口を有しています。朝鮮語は他にも、中国の延辺朝鮮族自治州や中央アジア、ロシア、またアメリカの韓国系移民、在日韓国・朝鮮人の間でも広く話されている言語です。

朝鮮語は、語順や語彙構成(漢字語・外来語・固有語)が日本語とほぼ同じだという大きな共通点があり、日本語がネイティブである皆さんにとって大変有利な言語であるといえます。また、ハングルもとても学びやすい文字です。

韓国には、日本でも大人気の K-POP や韓国ドラマ、食以外にも、文学、演劇、アート、コスメ、スポーツなどさまざまな魅力がつまった鉱脈があります。皆さんがその鉱脈から「お気に入り」を掘り当てるとき、ことばは、よりダイレクトなツールになりえるでしょう。また、日本ともっとも近い国である韓国・北朝鮮が、相互理解を深め、友好的な関係を築くうえでも、ことばは大きな力を発揮するにちがいありません。

授業の概要

〈初級朝鮮語Ⅰ・Ⅱ〉

「聞く・話す・読む・書く」のすべてにわたるコミュニケーション能力の基盤を養います。徐々にハングル(朝鮮語の文字)を無理なく習得し、朝鮮語であいさつや自己紹介をしたり、相手に質問するなどの基本的なコミュニケーションができるようにします。ハングル能力検定試験の 5 級程度のレベルに到達することが可能です。

〈初級朝鮮語Ⅲ・Ⅳ〉

「初級朝鮮語Ⅰ・Ⅱ」で習得したことを基に文法力をしっかりと身につけ、日常生活に必要な会話能力を身につけ、様々な場面に対応できるように表現力をより豊かにすることを目指します。ハングル能力検定試験の 4 級程度のレベルに到達することを目指しています。



最も近い国の人たちとコミュニケーションをしよう

朝鮮半島は何ととっても最も近い地域です。皆さんが学習して実際に使い、隣国の人々と心を通わせる可能性が非常に高いと言えるでしょう。松山空港から韓国直行便が飛んでいるという好条件の下、朝鮮語を学んだ多くの先輩たちも気軽に韓国へ旅し、学んだ言葉を試し、人と人との触れ合いを直に体験しています。また、短期・長期留学を実現した多くの先輩たちは高い言語運用能力を身につけ、異文化理解に長けた貴重な存在として各方面で活躍しています。

留学や研修のチャンスを生かそう

愛媛大学は、忠南大学校を初めとして、いくつかの韓国の大学と交流協定を結んでおり、交換留学のチャンスが全学部生に与えられています。その他に、文化研修や短期語学研修も実施されています。多くの愛大生たちが、実際に韓国の地で学び、より高い言語運用能力を身につけ、社会において大いに生かされることを期待しています。



ソウルの王宮、景福宮にて